



The Enterprise Center



設置した制御用地震計S401-PSC

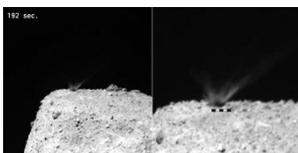
## フィリピンの高層オフィスビルにS401-PSC設置

フィリピン共和国マカティ市の高層オフィスビル「The Enterprise Center」に、制御用地震計S401-PSCが設置されました。現地商社ACIPI INTERNATIONAL PHILIPPINES INCORPORATED の協力により納入されたものです。マカティ市は、Metro Manilaと呼ばれるフィリピンの首都圏に属し、経済の中心地であるとともに高級住宅街としても知られ、商業施設にも隣接している人気地区です。また一方、この地帯は地下の断層によって巨大地震が発生する可能性があるとも言われています。

このツインビル構造のThe Enterprise Center内の下層階、中層階、高層階に1台ずつ計6台のS401-PSCが設置され、検知した地震データを監視室にあるモニター用PCで監視しています。

明星電気の地震観測技術が、日本と同じ地震大国フィリピンの都心部で活用されています。

(担当: 気象防災事業部)



©Arakawa et al., 2020

DCAM3によって撮影されたエジェクタカーテン



©JAXA

分離カメラDCAM3

## 「はやぶさ2」観測成果論文、Science誌電子版掲載

2019年4月、小惑星探査機「はやぶさ2」は小惑星リュウグウにおいて、小型搭載型衝突装置(SCI)による人工クレーター生成実験を行い、その詳細をまとめた論文が2020年3月19日(日本時間20日)にアメリカの科学雑誌Science電子版に掲載されました。

当社が開発に参画した分離カメラDCAM3は衝突後から約8分間にわたり、衝突領域を撮影することに成功しました。論文にはDCAM3で撮影された噴出物(エジェクタ)がカーテン状に広がるエジェクタカーテンの様子やリュウグウの地表にエジェクタがたまっていく様子などの画像が紹介されました。

明星電気は、これからも宇宙の謎の解明に貢献していきます。

(担当: 宇宙防衛事業部)



METARからの航空気象

## 「METARからの航空気象」に当社計測機器掲載

鳳文書林出版販売の「METARからの航空気象」に、当社の計測機器が掲載されました。この本は、桜美林大学 横田友宏教授、東海大学 新井直樹教授、長崎大学 中西善信准教授による航空気象に関する著書で、特に気象通報式である定時飛行場実況気象通報式「METAR」、運航用飛行場予報気象通報式「TAF」が読めるようになることに主眼が置かれています。天気現象の原理原則の説明にとどまらず、パイロット、管制官、整備士、空港関係者が各々の立場で何に気をつけなければならないのかが書かれています。

当社は、この本に航空管制塔で表示される気象情報の例や視程計、雨量計などの画像を提供しました。航空気象を学ぶ学生、空港関係者などに読まれる予定です。

明星電気は、これからも航空気象の発展に協力していきます。

(担当: 気象防災事業部)

## Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。